

様式第3号

令和7年度第2回一関市立舞川中学校運営支援協議会 会議録

- 1 会議名 令和7年度第2回一関市立舞川中学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和7年8月21日(木) 10時00分から11時30分まで
- 3 開催場所 一関市立舞川中学校 校長室
- 4 出席者
 - (1) 委員 小野寺 千秋 委員(会長)、今川 晋 委員(副会長:本校校長)
小野寺 政吉 委員(副会長)
佐藤 千草 委員、佐藤 千代 委員、福岡 喜久子 委員
※欠席者 伊師 みゆき 委員、佐藤 浩一 委員、齋藤 正則 委員
 - (2) 事務局 小野寺 浩二 舞川中学校副校長、浅野 始央 教務主任(委員兼務)
- 5 議題
 - (1) 令和7年度1学期学校評価について
 - (2) 生徒の様子について
 - (3) その他【部活動延長について、県南地区の高校再編計画について】
- 6 公開、非公開の別 議事内容(1)・(3)については公開、(2)は非公開
- 7 傍聴人 0人
- 8 議事内容

(1)について副校長から説明を行い、質問・意見を募った。内容については以下の通り。

小野寺千会長：授業の中での「話し合い」とはどのようなことをしているのか。

校 長：友達同士で意見を交流しながら考えたり、教師と問答したりする場面を意図的に設けている。このような活動の取り入れを保護者に周知することも必要だと思う。

佐藤千草委員：うちの子供にも連絡手段としてスマホを与えているが、「息抜き」ということで手に持つ時間が増えている。学習との関連を考え、家庭で指導していく必要があると思う。また、「あいさつ」については家庭内でもそうだが、部活動でのあいさつの声の小ささが気になる。注意されてからやるような様子も見られるので、積極性を持たせたい。

校 長：内気な生徒も多くいるが、今後社会に出て行く上で堂々とあいさつできることは大切なことなので、元気にあいさつができる生徒を育てていきたい。

小野寺政副会長：スマホがあれば何でもできるので、手放せないのはわからないでもないが、あくまでも「機械」だという割り切りが必要ではないか。

校 長：生徒会の「舞ルール」で今までは細かなスマホ使用のルールを決めていたが、
今後は家庭でのコントロールを求め、学校としてのルールづくりは要点を
絞ったものにしていく予定である。

小野寺政副会長：中学校でのタブレットを家庭に持ち帰っての課題を出したりしているのか。

校 長：中学校でもそのような課題の出し方を行っている。ただ、タブレットの不具
合が多く発生しているため使用させづらい。

この後決議を行い、承認を得た。

(3)について

・ソフトテニス部の部延長に対する今後の取り扱いについて。資料を提示し、校長から説明を
行った後、意見質問を募った。内容は以下の通り。

小野寺千会長：地区内にソフトテニスの経験者はいるが、指導できる方はなかなかいない。

佐藤千草委員：保護者に呼びかけることもできるかもしれないが、生徒の部活時間に都合をつけ
ることが難しいだろう。

この後決議を行い、承認を得た。

・県南地区の高校再編について。資料を提示し、話題提供を校長から行った後、意見質問を
募った。

福 岡 委 員：高校の再編もそうだが、小中の統廃合の話も考えていかなければならない。CS
については小規模校同士の交流を勧められている。交流の対象を考えていく必要
がある。

校 長：小中合同で市教委の説明を受ける機会があっても良いかもしれない。

この件については議決内容ではなかったので意見交流のみとした。その後小野寺政副会長より、
戦後80年ということで、中学校裏手にある中貝山の忠魂碑を題材とした平和教育のアイデア
等が出され、委員同士で意見交流を行った。